



のおくりもの

4

The Gift from Woods

No.355

Take Free
ご自由にお持ちください



カタクリ (ユリ科)・・・早春の自然観察の森を代表する植物。



早春に開花し、夏以降は地上部が枯れ、翌春まで休眠する草花のことを総称して、スプリング・エフェメラル (Spring ephemeral) と呼びます。直訳すると「春の儚 (はかな) いもの」「春の短命なもの」という意味ですが、一般的には「春の妖精」という呼び名で知られています。意識ではありますが、とても情緒的で、これらの植物を言い表すのにぴったりの表現です。

その代表的な植物であるカタクリは、落葉樹や他の植物の芽吹き前、春の暖かな日光を独占し、つかの間の春を謳歌するかのよう成長します。そして、その他の草木で森が賑わいを見せるころには森から姿を消してしまいます。芽出しから開花、結実、休眠までの期間はわずか数ヶ月ほど。このようなライフサイクルは、生命力の弱い植物の生存戦略なのかもしれませんが、逆に私は植物のたくましさも感じます。

【写真・文 近藤晋也】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

『春風駘蕩』（しゅんぷうたいとう）

例年では、3月だと春になったといってもまだ肌寒く、4月の初めまで降雪が心配されますが、今年は雪が降らずに寒の戻りもなく暖かな3月でした。植物にとっては寒さで生長が停滞されることがなかったためか、芽生えや開花が驚くほど速く進みました。仙台のソメイヨシノの標本木が観測史上初の3月31日に満開となるなど、各地で春の光景が繰り広げられています。

「春風駘蕩」という言葉があります。「春の景色ののどかなさま。春の風がのどかに優しく吹いているさま。」という意味で、穏やかに暖かな陽気の日ピッタリの言葉です。また、これを転じて「何事もなく平穏であること。温厚でのんびりとした性格や態度の人柄。」にたとえられます。

しかし、春一番が知られているように春は強風が吹く時期で、他にも“春の嵐”、“春雷”、“春疾風（はるはやて）”など、荒れた天候を表す言葉があり、天気が不安定な季節です。穏やかなのが当たり前ではないからこそ、のどかでうらかな天気の日が尚更心地よく思うので、春は穏やかだという印象を強めているのではないかと考えました。

宮城県においてこの春は、低気圧による嵐や強めの地震に度々襲われ、新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態に見舞われるなど、穏やかではない日々が続いています。以前のようなマスクをせずに感染に怯えることなく平穏に過ごしていた日常は、とても幸せなことなのだと感じました。

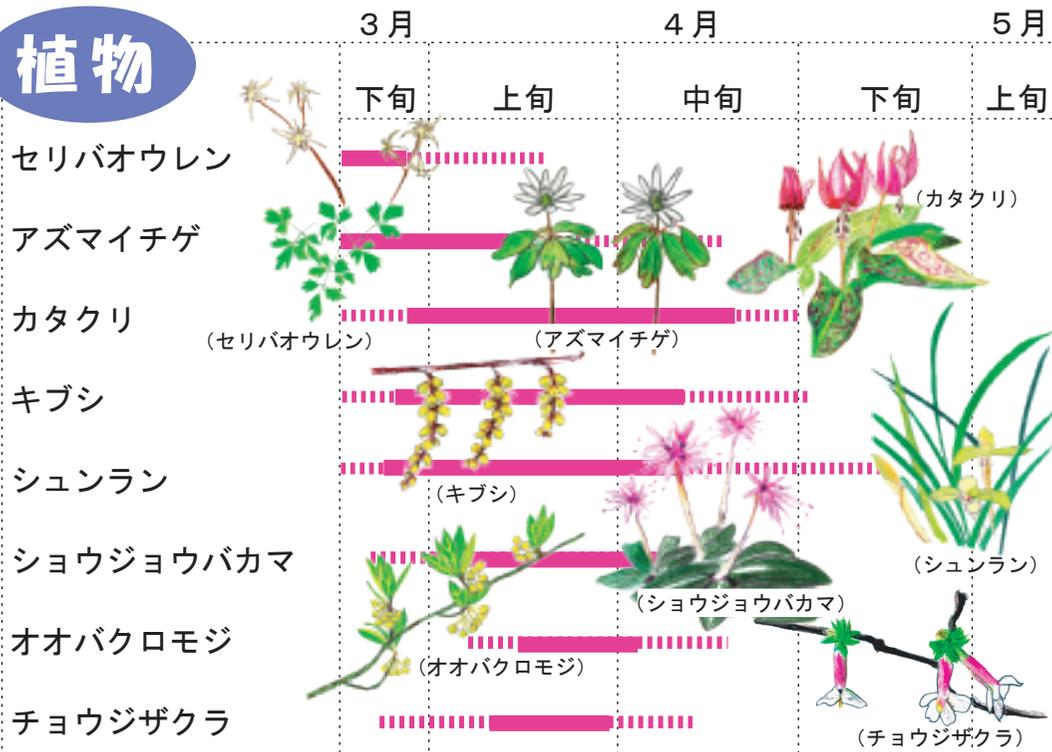
このようなときにつくづく平和のありがたさを思います。いつまでも皆が無事で平和に過ごせますように。

【レンジャー：新田隆一】



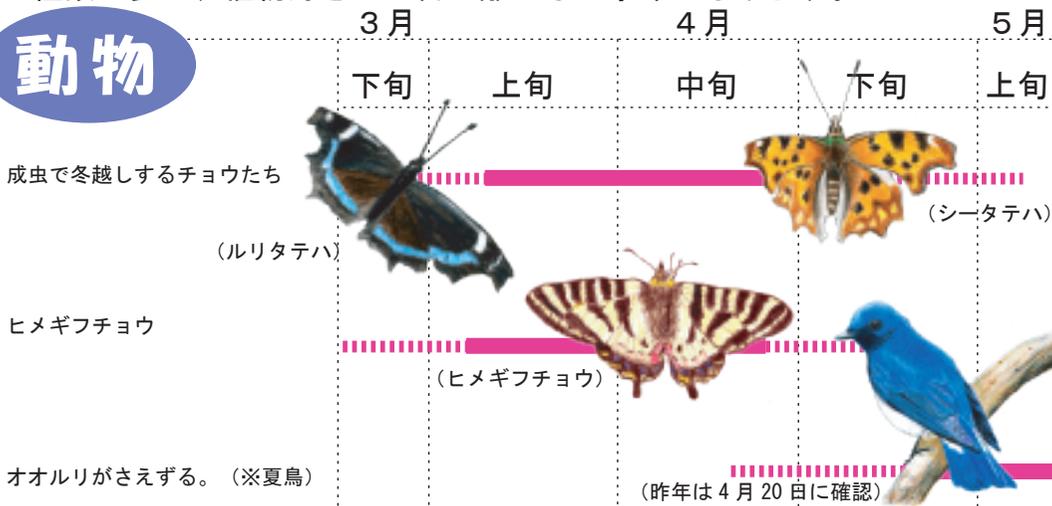
4月の生物ごよみ

植物



ウグイスは春告鳥（はるつげどり）とも言われ、最初のさえずりが有名ですが、今年は3月12日に初音が確認されました。昨年よりも2日遅れの確認になります。カタクリの開花は3月16日と昨年より3日ほど遅く『蝶の野原』で開花が確認されました。4月は1年を通して一番植物開花の種数が多く、植物好きには目が離せない季節になります。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが、おもに3月～10月の間になる。

森の「あれこれ」



「マンサクと西口先生と」



4月より本ページのタイトルを、森の「おとしもの」から「あれこれ」に変えました。心穏やかな年になりますように。

さて、センターの前のマンサクにはまだ十分に花が残っています。これで見納めと枝を引き寄せると、柔らかくしなり折れることはありません。「枝がこんなに柔らかいのはどうして？」と、おだやかな西口先生の声がよみがえります。

西口親雄（にしぐちちかお）氏は東京大学農学部を卒業後、東北大学農学部付属演習林に勤務した昆虫森林学の研究者です。退官後は多くの著書を出す一方、カルチャーセンターで「アマチュア森林学」の講師をされていました。その講義がとてもおもしろくて当時サラリーマンだった私は仕事の合間をぬって通いました。知識を詰め込むだけの授業でなく、実際のいきものを題材に「なぜ？」を見つけ、仮説を立て、論を展開するものでした。先ほどのマンサクでいえば、枝がしなるのは「積雪に対する適応ではないか？」「ではマンサクの育つ環境は？」「分布と積雪の関係は？」…と、まるで謎解きをしていく様なレクチャーでした。さらに枝を薪をしぼるロープ代わりに使ったり、かんじき（雪の上を歩く道具）の材料にしたりと話題は広がっていくのです。テーマは植物に限らず昆虫・野鳥・哺乳動物・キノコ・地衣類までひろがって…楽しかったなあ。いつか先生みたいに人と自然をつなぐ仕事をしたいなあ、と思っていましたが縁あって太白山自然観察の森でレンジャーとして今年4年目を迎えられました。ただ、西口先生は数年前に亡くなられ、直接報告ができなかったのが心残りです。

「先生…」青空にはえるマンサクを見上げ、またつぶやきます。

【レンジャー：木田秀幸】

森は糸



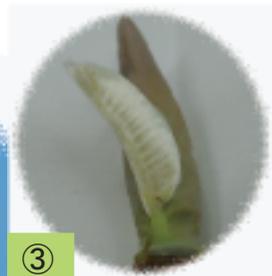
森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

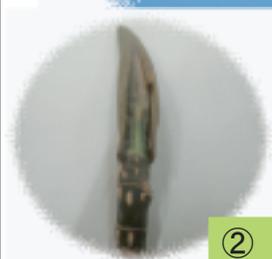
ホオノキは、毎年4月の下旬から5月の初旬にかけて芽吹きますが、芽吹く前の芽の中はどうなっているのでしょうか。写真①は、3月の冬芽の様子です。まだ厚いコート（芽鱗）に覆われていました。芽鱗をはぎ取って、中に詰まっているものを見てみたいと思います。冬芽として最大級の大きさがあるので、中身の観察にはもってこいです。芽吹く前にちょっとかわいそうですが芽鱗に「メス」を入れさせていただきます。（^^♪



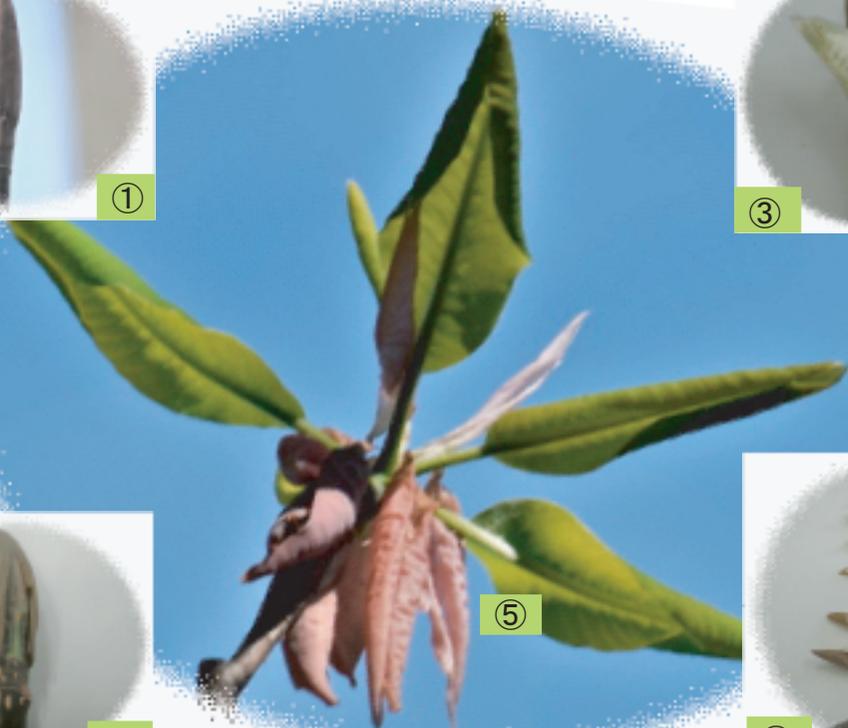
①



③



②



⑤



④

もっとも外側の芽鱗を写真②の様に切り開くと中に写真③のように折りたたまれた葉が出てきました。葉全体が白い毛で覆われています。よく見るとこの葉の柄の部分茶色の芽鱗のようなもの（托葉）と合体しています。この合体部分の名残が写真①にも見られますよ。さらに出てくる托葉を何回も切り開くと、写真④のように大きさを小さくしながら毛で覆われた葉が何枚も詰まっていたのです。冬芽の中は、幼い葉が1枚1枚托葉に守られながら芽吹きの時を待っていたのです。今回観察した冬芽の中身は芽吹く予定の葉が何枚も詰まっており、葉芽と呼ばれます。ホオノキの芽には他に、花と葉が混じった混芽も見られます。淡い緑の若葉とそれを包む薄いピンクの托葉が共に美しく芽吹く姿がとても待ち遠しくなりました。（^^♪

【レンジャー：菅原幸彦】



宮城県・仙台市から発令された緊急事態宣言にともない、4月11日(日)まで観察センターを閉館いたします。期間中のイベント及びガイドウォークもすべて中止となります。12日以降のイベントに関しても中止となる場合がありますので、ご不明な点などございましたらお問い合わせ下さいませようお願いします。

イベント

- ◆おはよう野鳥かんさつ 講師の解説とともに野鳥の声と姿を探します。
【日 時】4月17日(土) 午前6時半～8時 【定 員】15名
【持ち物】あたたかく歩きやすい服装と靴、観察用具(双眼鏡貸出あり)
【申込み】4月6日(火)9時より電話受付
- ◆太白山の春をたずねて 春の自然の解説を交えながら太白山を登ります。
【日 時】4月24日(土) 午前10時～午後3時
【持ち物】歩きやすい服装と靴, 雨具、昼食 【定 員】小学生以上15名
【申込み】往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上4/12必着
※一通につき4名まで
- ◆はじめて☆バードウォッチング バードウォッチング初心者向けの観察会。
【日 時】4月29日(木・祝) 午前10時～11時半
【持ち物】双眼鏡(無料貸出し有)、歩きやすい服装と靴【定 員】15名
【申込み】4月8日(木)9時より電話受付

ガイドウォーク

毎週日曜日開催
申込み不要、どなたでも参加できます

開催日: ~~4月11日(中止)~~, 18日, 25日
時 間: ①10:00～11:30 ②13:30～15:00

休館日

5日, 12日, 19日, 26日
※毎週月曜日休館、月曜日が祝祭日の場合はその翌日

太白山自然観察の森ブログ

森のようすやイベント情報などをお届けします

<http://blog.livedoor.jp/skrk2-sizenkansatu/>



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーはWebで!



「杜のひろば」URL

<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

観察の森へのアクセス



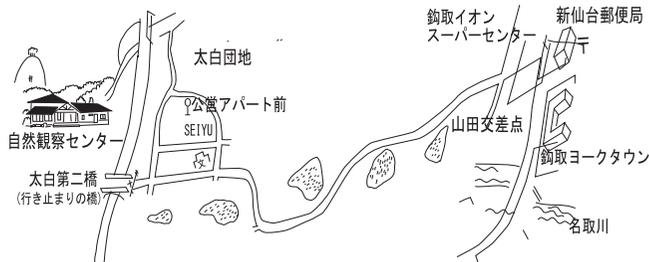
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
※③のみ「太白団地、山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター